

令和5年度

# 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書



滝川市いじめ根絶シンボルマーク最優秀作品

令和6年8月

滝川市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、「滝川市教育推進計画」の施策の中から選択した5事業に係る事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進してまいります。

令和6年8月

滝川市教育委員会

# 目 次

## 1 教育委員会の活動状況について

- (1) 教育委員会の会議の開催状況 ..... 1
- (2) 条例・規則の制定状況 ..... 3

## 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

- (1) 点検・評価の方法について ..... 5
- (2) 点検・評価の流れについて ..... 5
- (3) 点検・評価対象事業について ..... 5
  - 令和5年度点検・評価対象事業一覧 ..... 6
- (4) 点検・評価に関する報告書
  - 1 確かな学力の育成 ..... 7
  - 2 豊かな心の育成 ..... 13
  - 3 健やかな体の育成 ..... 19
  - 4 生涯学習の推進 ..... 23
  - 5 教育DXの推進 ..... 27

# 1 教育委員会の活動状況について

## (1) 教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会会議は原則として公開で、毎月1回を基本として開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことで様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

### ア 教育委員会会議（12回開催）

R 5. 4.26	報 告	①3月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について ③教育支援委員会議における審議・報告結果について ④令和4年度卒業式及び令和5年度入学式における国旗・国歌の実施状況について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会の所管に係る滝川市個人情報保護条例施行規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市文化財保護審議会委員の委嘱について 議案第3号 滝川市教育支援委員会議委員の選出について
	その他	①各所管の年間業務計画について ②運動会の日程について
R 5. 5.16	報 告	①4月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について
	議 案	議案第1号 滝川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 議案第2号 江陵中学校区学校運営協議会委員の任命について 議案第3号 明苑中学校区学校運営協議会委員の任命について 議案第4号 開西中学校区学校運営協議会委員の任命について 議案第5号 令和5年度教育行政執行方針について
	その他	①令和5年度教科書採択（小学校・英語）における学習者用デジタル教科書の見本版の閲覧について
R 5. 6.21	報 告	①5月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②社会教育施設の利用状況について
	議 案	報告第1号 臨時代理について（令和5年度一般会計補正予算について） 議案第1号 滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則 議案第2号 教育支援委員会議委員の選出
	その他	①いじめ防止基本方針改定スケジュールについて
R 5. 7.21	報 告	①6月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察 ③道費負担教職員人事の内申について
	議 案	報告第1号 臨時代理について（学校職員の処分内申について） 報告第2号 臨時代理について（令和5年度一般会計補正予算について）

	その他	①外国語指導助手の退任及び採用について
R 5. 8. 18	報 告	①7月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について ③専決処分について ④スコール滝川のオープンについて
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について 議案第2号 滝川市個人情報等の適正管理に関する規程の一部を改正する規程 議案第3号 令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について 議案第4号 令和6年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第5号 令和6年度に使用する高等学校用教科用図書の採択について
	その他	①令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
R 5. 9. 29	報 告	①8月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について
R 5. 10. 27	報 告	①9月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について
	その他	①令和5年度全国学力・学習状況調査結果について～滝川市立小学校、中学校の学力の状況等～
R 5. 11. 24	報 告	①10月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②「インターネット利用に関する意識調査」の結果について
	議 案	議案第1号 「太郎吉蔵（旧五十嵐酒造店倉庫）」滝川市指定文化財の指定解除について 議案第2号 令和5年度教育予算12月補正について
	その他	①「滝川市子どものいじめ防止基本方針」改定について
R 5. 12. 19	報 告	①11月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察
	議 案	報告第1号 臨時代理について（令和5年度教育予算12月補正について）
	その他	①令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
R 6. 1. 26	報 告	①12月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について
	議 案	議案第1号 第3次滝川市子どもの読書活動推進計画について
R 6. 2. 14	報 告	①1月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 令和6年度教育予算について 議案第2号 令和6年度教育行政執行方針について 議案第3号 滝川市子どものいじめ防止基本方針について

		議案第4号 令和5年度教育予算3月補正について
	その他	①令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について～滝川市立小学校、中学校の体力の状況等～ ②部活動の地域移行について
R 6. 3. 22	報 告	①2月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について ③「滝川市立学校化学物質対応マニュアル」の策定について ④令和5年度卒業生進路決定状況について ⑤「新たな海洋センター整備に関する基本構想」について
	議 案	報告第1号 臨時代理について（学校職員の処分内申について） 議案第1号 滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市立高等学校学則の一部を改正する規則 議案第3号 滝川市立学校職員服務規程の一部を改正する規程 議案第4号 道費負担教職員の任免に係る内申について 議案第5号 滝川市立学校職員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について
	その他	①外国語指導助手の退任について ②辞令交付式等

イ 教育委員協議会（3回開催）

開催日	調査及び研究内容
R 5. 4. 26	・令和5年度教育行政執行方針（素案）について
R 5. 7. 21	・滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
R 5. 12. 19	・第3次滝川市子どもの読書活動推進計画について

(2) 条例・規則の制定状況

令和5年度に制定又は改正された教育関係条例の数は1件、教育委員会規則の数は5件です。  
（施行年月日がR 5. 4. 1～R 6. 3. 31のもの）

ア 教育関係条例

題 名	施行年月日
滝川市都市公園条例の一部を改正する条例	R 5. 4. 1

イ 教育委員会規則

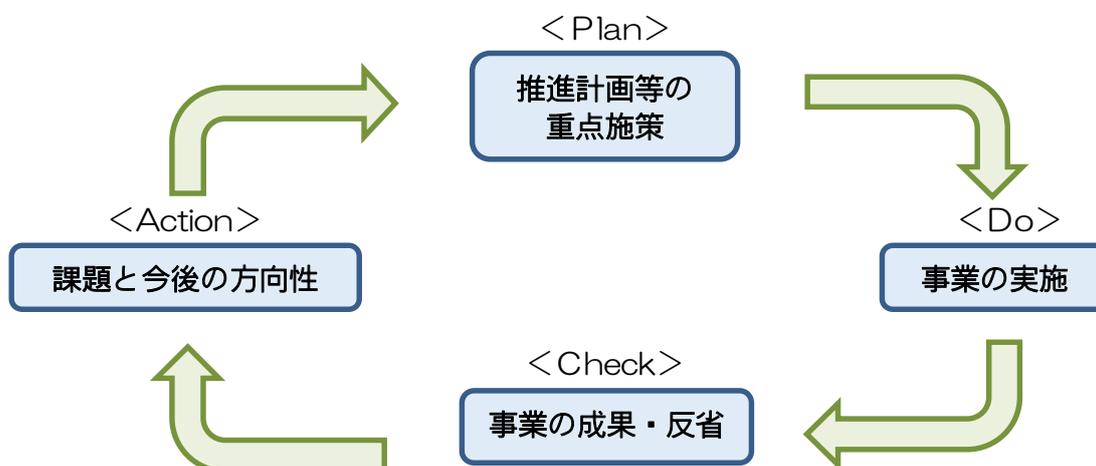
題 名	施行年月日
滝川市営球場及び滝川市陸上競技場管理規則の一部を改正する規則	R 5. 4. 1
滝川市学校給食費の徴収及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則	R 5. 4. 1
滝川市学校運営協議会規則の一部を改正する規則	R 5. 4. 1

滝川市教育委員会の所管に係る滝川市個人情報保護条例施行規則の一部を改正する規則	R 5 . 4 . 26
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	R 5 . 6 . 21

## 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

### (1) 点検・評価の方法について

点検・結果のフィードバックについては、P.D.C.Aサイクルに基づき、令和5年度重点事業における目標と成果の確認を適切に実施し、来年度に向けた課題とその解決に向けての方向性を決定します。



### (2) 点検・評価の流れについて

#### ア 点検・評価シートの作成

教育委員会所管課において、点検・評価シートを作成し、実施事業に対する評価・反省を行います。

#### イ 外部評価の実施

外部評価会議を開催し、点検・評価シートに基づくヒアリング（目標、実施状況、評価・反省点、今後の課題・取組の方向性）を実施し、各取組に対する評価・意見をいただきます。

#### ウ 点検・評価の報告書作成

外部評価の決定後に点検・評価報告書案として、直近の教育委員会会議に付議し、承認を受けたのち、市議会の所管常任委員会（総務文教常任委員会）に報告書を提出します。

報告後、市のホームページに掲載し、報告書を公表します。

### (3) 点検・評価対象事業について

平成24年度から「滝川市教育推進計画」に基づき点検・評価を行っており、令和6年度は、令和5年度に実施した事業で、「滝川市教育推進計画」に位置付けられた施策の中から、教育行政執行方針や部目標として掲げたものを中心に決定した5事業について点検・評価を実施しました。

※次頁の「令和5年度点検・評価対象事業一覧」参照

「令和5年度点検・評価対象事業一覧」

1	教育推進計画の重点方針	1 確かな学力の育成	教育総務課
	教育推進計画の施策の方向性	子どもたちの確かな学力と主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る 児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身に付けることを通してキャリア発達を促す教育を推進する	
	教育推進計画の主な取組	①外国語教育の充実 ②家庭学習の定着と充実 ③教職員研修の推進 ④幼・保・小連携の充実	
2	教育推進計画の重点方針	2 豊かな心の育成	教育総務課 ・ 社会教育課
	教育推進計画の施策の方向性	子どもたちの豊かな情操や道徳心を培い、自他の生命の尊重、他者への思いやり、自己肯定感、人間関係を築く力、社会性などを育む	
	教育推進計画の主な取組	①道徳教育の充実 ②情報モラル教育の推進	
3	教育推進計画の重点方針	3 健やかな体の育成	社会教育課 ・ 学校運営課
	教育推進計画の施策の方向性	生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成するとともに、生活習慣の確立や学校保健の推進等により、心身の健康と体力の向上を図る	
	教育推進計画の主な取組	①学校保健活動の充実 ②学校給食、食育活動の充実 ③学校や地域における子どものスポーツ機会の充実	
4	教育推進計画の重点方針	4 生涯学習の推進	社会教育課 ・ 図書館
	教育推進計画の施策の方向性	全ての人々が生涯を通じて自らの人生を設計し、活躍することができるよう、必要な知識・技能の習得、知的・人的ネットワークの構築や健康の保持・増進に資する生涯学習活動を推進する	
	教育推進計画の主な取組	①生涯学習活動の推進 ②生涯学習活動を支援する読書環境の整備	
5	教育推進計画の重点方針	5 教育DXの推進	教育総務課 ・ 学校運営課
	教育推進計画の施策の方向性	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた各教科等の指導におけるICT活用を促進する	
	教育推進計画の主な取組	①情報活用能力の育成 ②各教科等の指導におけるICT活用の促進 ③校務のICT化による教職員の業務負担軽減及び教育の質の向上	

## 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和5年度	所管課名	教育総務課
推進計画の重点方針	1 確かな学力の育成		
推進計画の施策の方向性	子どもたちの確かな学力と主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る 児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身に付けることを通してキャリア発達を促す教育を推進する		
推進計画の主な取組	①外国語教育の充実 ②家庭学習の定着と充実 ③教職員研修の推進 ④幼・保・小連携の充実		

① 達成目標 (Plan)	<p>①外国語に触れる機会を充実させ、外国語でのコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>②ICTなどを活用し、個別に応じた望ましい学習習慣・生活習慣の定着と充実を図る。</p> <p>③主体的・自律的な研修受講に向けた全校的な推進体制を構築し、教員の能力向上を推進。</p> <p>④幼稚園、保育所及び小学校の教職員の合同研修会の開催と連携強化。</p>
② 実施状況 (Do)	<p>①【外国語教育の充実のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校が「英検 ESG」(※注1)や「英検 IBA」(※注2)を実施し、取組み結果を分析することで、児童生徒の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の英語力の実態を把握し、バランスよく育成する授業改善を推進した。</li> </ul> <p>(※注1) 英検 ESG: 公益財団法人日本英語検定協会が実施する、小学校卒業時の英語力目標の達成状況を合格/不合格ではなく、学習達成度を客観的な指標を用いて評価するもの</p> <p>(※注2) 英検 IBA: 公益財団法人日本英語検定協会が実施する、グローバル化に対応できる英語力の測定、学習成果の確認や目標設定などに活用できるテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手 (ALT)による授業支援のほか、中学校では長期休業期間を利用したオンライン個別学習「ALT 英会話学習」を、小学校では「英語 de トライ」を実施した。</li> </ul> <p>※「ALT 英会話学習」 夏休み: 12回 (6人)、冬休み: 14回 (7人)</p> <p>「英語 de トライ」 実施校: 西小学校</p> <p>②【家庭での学習習慣の定着のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校連携による家庭学習の手引きなどの活用、「家庭学習強化週間」等の取組を引き続き推進した。</li> <li>・デジタル教材の積極的な活用を通して、家庭における端末を活用した家庭学習を推進した。</li> </ul> <p>③【教職員研修推進のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等の教師同士の学び合いを通して協働的な職場づくりや、教師が主体的に学び続ける機会を確保した。</li> </ul> <p>(ア) 市内生徒指導主事及び中1ギャップ未然防止事業担当者等市内教職員を対象とした不登校に係る研修会を実施した。</p> <p>講演会「不登校生徒の増加が意味するもの～学校現場で考えたいこと～」</p>

	<p>(7月25日開催、参加人数68人)</p> <p>(イ)市内小中学校及び空知管内で体力向上に関わっている教職員並びに初任段階教諭を対象とした体育エキスパート教員公開授業・研修会を実施した。</p> <p>(9月1日開催、参加人数15人(小学校13人、中学校2人))</p> <p>(ウ)滝川市道德教育推進事業研修会・講演会(小学校)を実施した。</p> <p>(10月18日開催、参加人数125人)</p> <p>(エ)滝川市道德教育推進事業研修会・講演会(中学校)を実施した。</p> <p>(10月19日開催、参加人数74人)</p> <p>(オ)滝川市教職員研修会「ICT活用授業実践」を実施した。</p> <p>(1月11日開催、参加人数33人(小学校16人、中学校17人))</p> <p>このほか、空知教育センターが主催する研修会など、教職員の能力向上に資する各種研修機会が実施された。</p> <p>④【幼・保・小連携充実のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内幼稚園・保育所・小学校連携研修会として公開授業と講師による講義を行った。(9月28日開催、参加人数26人)</li> <li>・新1年生に係る幼・保・小引継会を実施した。(3月25日)</li> </ul>
<p>③ 評価・反省点 (Check)</p>	<p>①英検 ESG、英検 IBA の取組は、児童生徒が自らの英語力を把握することができ、英検3級合格者も増えている。分析結果からも学年が上がると英語力も着実にアップしていることが分かる。今後も外国語指導助手 (ALT) を効果的に活用して、英語に親しむことで英語学習や英検受験への意欲化を図るなど英語力向上に繋げたい。</p> <p>②各学校で作成する家庭学習の手引きを活用しながら、端末を持ち帰って活用するなど家庭での計画的な学習習慣に繋がっている傾向は見られるが、平日1日あたりの学習時間数が全国平均より少ない結果が出ており、家庭での環境づくりが課題である。</p> <p>③児童生徒の学力向上を育成するためには、教師自身も新たな知識技能の習得に継続的に取り組んでいく必要があるため、オンライン研修や対面研修、講演会など様々な形式の研修会を開催し、教員としての資質向上に繋がる研修機会が確保できた。</p> <p>④幼稚園、保育所及び小学校の教職員の合同研修会を開催し、子どもの発達の情報を共有し、円滑に小学校へ引き継ぎを行うことができたが、「事前に情報交換ができれば」といった要望が教職員からあがるなど、改善できる点はまだあるので円滑な引き継ぎに努める。</p>
<p>④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)</p>	<p>①英検 ESG、英検 IBA の取組結果も活用しながら、外国語教育に関しては、外国語指導助手 (ALT) による授業支援など、英語を中心とした外国語と触れ合う機会を増やしてコミュニケーション能力や異文化を理解する力の育成に向けた取組を推進する。</p> <p>②引き続き各学校で作成する家庭学習の手引きなどの活用を徹底し、学校と家庭とが連携した環境づくりを推進するとともに、小・中学校に導入する AI ドリルを活用して家庭学習習慣の定着を図る。</p> <p>③学校長等のマネジメントの下で、教員の自律的・主体的な学びを実現するため、教職員研修推進体制を構築し、「学び続ける教師」の育成を推進する。</p> <p>④幼児・児童一人ひとりの発達段階のきめ細かな把握と、発達や学びに必要な環境を整えるため、架け橋期におけるカリキュラムの作成をはじめとした幼保小の連携を支援する。</p>

## 全体を通じて（評価ポイント）

第3期滝川市教育推進計画を策定し、令和5年度から「未来を切り拓く自立型人材の育成」、「誰もが学び続けることができる共生社会の実現」という2つの基本理念の下、各種施策を進めることにより、様々な取組みを推進しております。児童生徒の学力向上や外国語教育は主要な施策であり、未来を担う人材育成のために欠かせない取組です。ICTなども活用しながら、個々に応じた学びを推進します。

### 外部評価会議委員からの評価・意見

- ・小学校での「英語d eトライ」や、中学校での長期休業中の「英会話学習」などの取り組みで、外国語教育が充実してきていると思う。  
(小学校での「英語d eトライ」は令和5年度は西小学校、令和6年度は滝川第一小学校で実施予定である。)
- ・長期休業中の「英会話学習」はオンラインとあるが、対面での実施はないのか。  
(コロナ禍においてはオンラインで実施していた。令和6年度も1対1で実施し、希望を確認して対面も実施する。)
- ・日本語も外国語も、コミュニケーションは対面での会話が大事だと考える。

確かな学力の育成

Plan (達成目標)

- ①外国語に触れる機会を充実させ、外国語でのコミュニケーション能力の向上を図る。
- ②ICTなどを活用し、個別に応じた望ましい学習習慣・生活習慣の定着と充実を図る。
- ③主体的・自律的な研修受講に向けた全校的な推進体制を構築し、教員の能力向上を推進。
- ④幼稚園、保育所及び小学校の教職員の合同研修会の開催と連携強化。

Do (実施状況)

①外国語教育の充実のための取組

「英検 ESG」、「英検 IBA」取組結果

【ねらい】

小学校で「英検ESG」、中学校で「英検IBA」を実施し、取組結果を分析することで児童生徒の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の英語力の実態を把握し、バランスよく育成する授業改善を推進する。

※英検ESG・英検IBA：日本英語検定協会の英語能力判定テスト

【取組結果】

市内中学生では英検IBA受験者は750人で、うち、英検3級相当または以上の英語力を有していると思われる生徒数は150人だった。英検3級合格者も、年々少しずつ増えている。

- 英検3級合格者：64人  
※準2級合格者16人、2級合格者4人を含む  
(R3：45人、R4：59人)
- 令和5年度英検IBA  
英検IBA受験者(中学校1、2、3年生)…750人  
「英検3級Lvまたは英検3級以上Lvの英語力を有していると思われる生徒数」…150人(受験者数の20%)

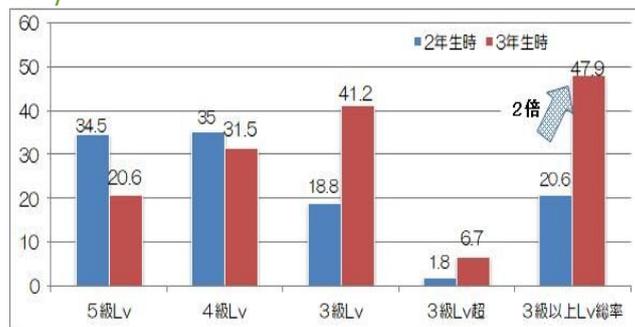
長期休業期間中のオンライン英会話学習  
(対象：中学生)

【ねらい】

児童生徒の英語学習への取り組みをさらに深めるために、長期休業期間中にALTを活用した1対1による英会話学習を実施する。

- ※1人あたり休業期間内に2日間実施
- ・夏休み：12回(6人)
- ・冬休み：14回(7人)

R5年度の中学3年生の英語力を2年生の時と比較。1年で英検3級相当の英語力を身につけている割合が増えた。



②家庭での学習習慣の定着のための取組

家庭学習の手引きの活用  
※江陵中学校区「まなびのさかみち」

【ねらい】

小・中学校連携により家庭学習の手引きを活用し、家庭学習のポイントや保護者の関わり方の参考例から、家庭での学習習慣が定着する環境づくりの取組を推進する。

【具体的取組】

ICTを活用した家庭学習など、学校と家庭が連携し学習習慣が身につく環境づくりに向け取り組んだ。

まなびのさかみち

～子どもたちの健やかな成長を目指して～  
家庭学習の習慣化・いじめの未然防止・家庭環境づくり



確かな学力の育成

小・中9年間で取り組む家庭学習【国語・算数（数学）】  
～家庭学習のポイントと保護者の関わり～

滝川第一小PTA・滝川第二小PTA・江部乙小PTA・江陵中PTA・江陵中学校区学校運営協議会

時期	国語（例）	算数（例）	他の教科等（例）	保護者の関わり（例）
小学1年 10分以上	ひらがな練習 カタカナ練習 漢字練習 音読 教科書の書き写し 絵日記 想像したことや手紙を書く	計算練習 (1桁の数の+、-) 問題を図で表す 形づくり 長さ比べ 時刻、時間調べ	鍵盤ハーモニカの練習 草や花の絵を描く 虫の名前を調べる 観察日記を書く	一緒に学習 やる気を出させる 手助けしながら、一緒に学習 出たところはたくさん褒めましょう 学校からの連絡やお便りと一緒に確かめましょう
小学2年 20分以上	漢字練習 音読 教科書の書き写し 絵日記や手紙を書く 読書の感想を家族にお話する	計算練習 (2桁の+、- かけ算九九等) 問題を図で表す 100マス計算等 長さ比べ 時刻、時間調べ	リコーダーの練習 理科や社会の学習 おもしろい本や雑誌 疑問をもったこと、本や図書館などで調べ 調べた結果を表に整理し、結果を比較してまとめる 簡単な英語を使って家族と会話をする	一緒に学習 やる気を出させる 手助けしながら、一緒に学習 出たところはたくさん褒めましょう 学校からの連絡やお便りと一緒に確かめましょう
小学3年 30分以上	漢字練習 音読 日記、作文 読書の感想を書く 国語辞典を使った意味調べ ローマ字練習	計算、文章題練習 (3桁の数の+、-) 分数の計算(+、-) 問題を図で表す 長さ、書き調べ コンパスの使い方の練習	理科や社会の学習 おもしろい本や雑誌 疑問をもったこと、本や図書館などで調べ 調べた結果を表に整理し、結果を比較してまとめる 簡単な英語を使って家族と会話をする	一緒に学習 やる気を出させる 手助けしながら、一緒に学習 出たところはたくさん褒めましょう 学校からの連絡やお便りと一緒に確かめましょう
小学4年 40分以上	漢字練習 音読 読書の感想を書く 本を読んだ要約をする 国語辞典を使った意味調べ ローマ字練習	計算、文章題練習 (4桁・5桁の+、-) 問題を図で表す 正方形等の面積を公式で求める 分数を用いた角度調べ 立方体、直方体の具取図や展開図を書く	理科や社会の学習 おもしろい本や雑誌 疑問をもったこと、本や図書館などで調べ 調べた結果を表に整理し、結果を比較してまとめる 簡単な英語を使って家族と会話をする	一緒に学習 やる気を出させる 手助けしながら、一緒に学習 出たところはたくさん褒めましょう 学校からの連絡やお便りと一緒に確かめましょう

時期	国語（例）	算数（例）	他の教科等（例）	保護者の関わり（例）
小学5年 50分以上	漢字練習 音読 辞典の活用 古文、漢文の音読 漢字調べ 熟語の意味調べ 伝記を自分で自分の生き方を考え、感想文を書く	計算、文章題練習 (小数・分数の乗算) 問題づくり 問題を図で表す 三角形や四角形の面積、直方体の体積を公式で求める 見取図や展開図を書く	理科や社会の単元テストで学んだ問題を、教科書やノートで確認しながら解き直す 興味や疑問に思ったことを本や図書館などで調べ、表で整理したり結果を比較したりする 外国語の授業で学んだ単語を練習する	見守って 伸ばす 基本的な生活習慣を見直させましょう 宿題、授業の復習を中心に、計画を立て学習を進められるよう見守りましょう 授業の等について、話し合ってみましょう
小学6年 60分以上	漢字練習 音読 辞典の活用 古文、漢文の音読 熟語の意味調べ 読んだ本の推薦文を書く	計算、文章題練習 (分数・小数の四則計算) 問題づくり 問題を図で表す 円の面積、円柱の体積を公式で求める 速さ、距離、道のりを公式で求める 対称な図形を書く	理科や社会の単元テストで学んだ問題を、教科書やノートで確認しながら解き直す 興味や疑問に思ったことを本や図書館などで調べ、表で整理したり結果を比較したりする 外国語の授業で学んだ単語を練習する	見守って 伸ばす 基本的な生活習慣を見直させましょう 宿題、授業の復習を中心に、計画を立て学習を進められるよう見守りましょう 授業の等について、話し合ってみましょう
中学生 120分以上	国語（例） 【学習】<教科書を読む> ・教科書を音読する ・新しい漢字や熟語などを覚える ・古文や漢文をスラスラと読めるように練習する ・小説、説明文などを大まかな内容をつかむ 【復習】<教科書を読みながら、ワークの問題を解く> ・「の」字句などで書きなさい」等、記述式の問題に慣れる ・新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する	算数（例） 【学習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する> ・解いている問題の計算方法や公式などを確認する ・新しい計算方法や公式を理解して、例題を解く 【復習】<教科書の例題やワークの問題を解く> ・簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く ・解けなかった問題は、何度も繰り返し解く	理科や社会の単元テストで学んだ問題を、教科書やノートで確認しながら解き直す 興味や疑問に思ったことを本や図書館などで調べ、表で整理したり結果を比較したりする 外国語の授業で学んだ単語を練習する	見守って 伸ばす 基本的な生活習慣を見直させましょう 宿題、授業の復習を中心に、計画を立て学習を進められるよう見守りましょう 授業の等について、話し合ってみましょう
高校生 180分以上	国語（例） 【学習】<教科書を読む> ・教科書を音読する ・新しい漢字や熟語などを覚える ・古文や漢文をスラスラと読めるように練習する ・小説、説明文などを大まかな内容をつかむ 【復習】<教科書を読みながら、ワークの問題を解く> ・「の」字句などで書きなさい」等、記述式の問題に慣れる ・新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する	算数（例） 【学習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する> ・解いている問題の計算方法や公式などを確認する ・新しい計算方法や公式を理解して、例題を解く 【復習】<教科書の例題やワークの問題を解く> ・簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く ・解けなかった問題は、何度も繰り返し解く	理科や社会の単元テストで学んだ問題を、教科書やノートで確認しながら解き直す 興味や疑問に思ったことを本や図書館などで調べ、表で整理したり結果を比較したりする 外国語の授業で学んだ単語を練習する	見守って 伸ばす 基本的な生活習慣を見直させましょう 宿題、授業の復習を中心に、計画を立て学習を進められるよう見守りましょう 授業の等について、話し合ってみましょう

学びと心を育む学校の取組（一・小・二・小・三・小・江陵中）

基礎学力の定着	いじめの未然防止
<ul style="list-style-type: none"> <li>わかる授業づくり</li> <li>授業の進め方、進捗の把握</li> <li>教師の複数配置 (IT、個別指導等)</li> <li>ICT機器の効果的な活用</li> <li>&lt;教師の授業力の向上&gt;</li> <li>授業公開・授業研究等とお互いの授業改善</li> <li>校内研修</li> <li>各研修会への参加 (教育センター等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止等</li> <li>学級経営の充実 (子どもの居場所・絆づくり)</li> <li>自らの命を大切にすることを心の教育の充実</li> <li>いじめにこたえてき隊による被害の再防止・生徒会活動の充実</li> <li>他学年の思いやりや協力する心を養育 (学校行事等の充実)</li> <li>いじめの早期発見</li> <li>いじめアンケート</li> <li>定期的な教育相談</li> <li>海川いじめ相談電話 (TEL 0800-800-8734)</li> <li>校内体制の強化</li> </ul>

家庭学習の習慣化を促す保護者の環境づくり

<ul style="list-style-type: none"> <li>〇体をつくる</li> <li>・くっつき睡眠</li> <li>・しっかり朝食</li> <li>・毎日、運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇学習環境をつくる</li> <li>・場所を決めて</li> <li>・時間を決めて</li> <li>・テレビを消して</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>〇みとめて・ほめる</li> <li>・「よくできたね」</li> <li>・「上手にできたね」</li> <li>・「頑張っているね」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇一緒に過ごす</li> <li>・会話の時間を増やす</li> <li>・体験する機会を増やす</li> <li>・家族で読書を楽しむ</li> </ul>

子どもをネットトラブルから守るために

スマートフォン・パソコンなど様々な情報端末の普及に伴い、児童生徒のSNSや無料アプリ、無料ゲーム等の利用は増加傾向にあります。しかし、それらに有効に活用している反面、ネット依存やトラブル等の被害も多くなっています。「トラブルに巻き込まれない」「お金を払わずに遊ぶ」「個人情報の流出」など、子どもが安心して利用できるように、保護者の方にもルールを共有していただくことが大切です。

**【家庭のルール（例）】**

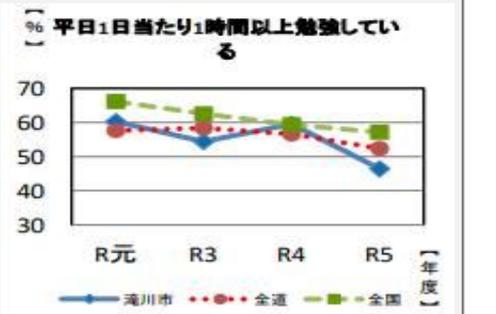
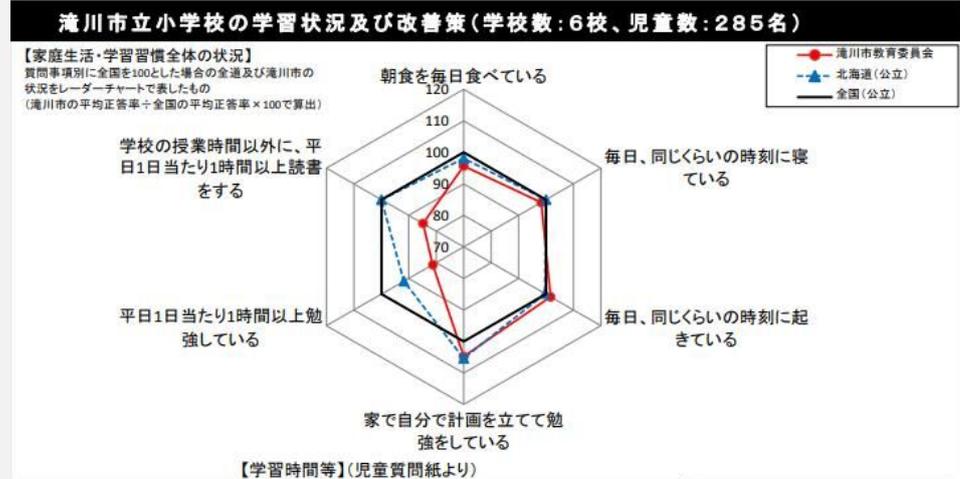
- 〇 **2人ルール**を設定する (年齢や発達段階に応じて)
- 〇 知らない人やメッセージのやり取りはしない
- 〇 個人情報が流出できる情報や写真などは撮影しない
- 〇 他人のパスワードやIDを勝手に使わない
- 〇 通信ゲーム等を全く使わない旨を決める
- 〇 ルールを守れない場合は利用を中止する
- 〇 知らない人やメッセージのやり取りはしない
- 〇 他人のパスワードやIDを勝手に使わない
- 〇 通信ゲーム等を全く使わない旨を決める
- 〇 ルールを守れない場合は利用を中止する

**<相談先>**

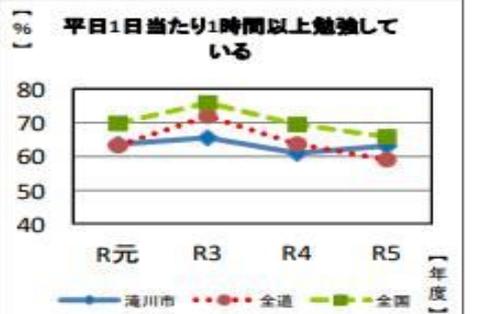
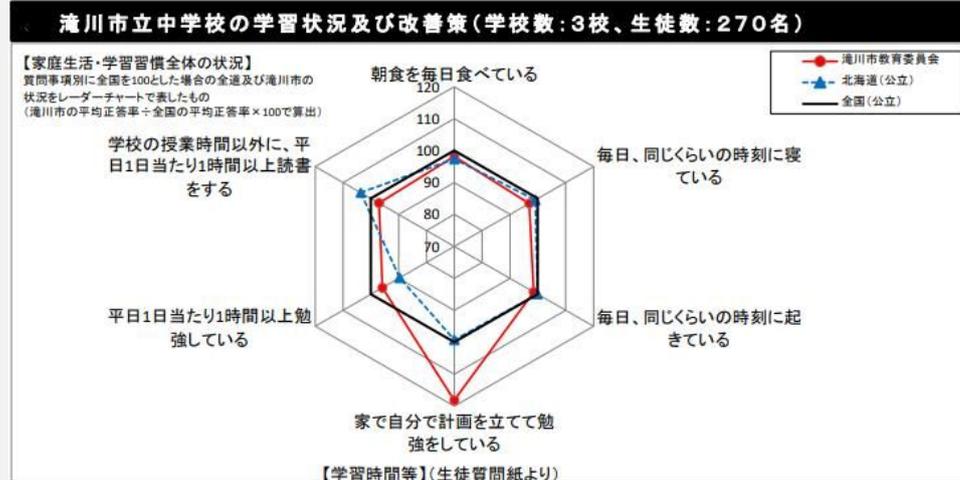
- 滝川市教育委員会 23-1234
- 滝川市教育委員会いじめ相談(24時間) 0800-800-8734
- 滝川警察署 24-0110
- 滝川市家庭児童相談室 23-5217
- 海川いじめ相談メールアドレス: jime\_soudan@city.takikawa.lg.jp
- 匿名で相談先: https://www.2prof.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/iodomo-ssw/

【令和5年度全国学力・学習状況調査結果より（滝川市公式ホームページに掲載）】

●小学校（6校）



●中学校（3校）



【家庭学習の傾向】  
小学校・中学校とも自分で計画を立てて勉強している割合は高いが、平日1日あたり1時間以上勉強している割合は、全国より下回っている。

## 確かな学力の育成

### ③教職員研修推進のための取組

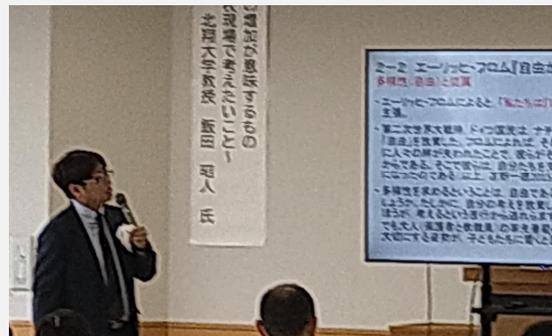
#### 市内教職員を対象とした研修会の実施

##### 【ねらい】

児童生徒の学力向上の育成には教職員自身も継続的に新たな知識技能の習得が必要となるため教師が主体的に学び続ける機会を確保する。

##### 【実施した研修会】

- ・中1ギャップ未然防止事業小中合同研修会  
「講演：不登校生徒の増加が意味するもの～学校現場で考えたいこと～」  
(7月25日開催、参加人数68人)
- ・体育エキスパート教員公開授業・研修会  
(9月1日開催、参加人数15人)
- ・滝川市道徳教育推進事業研修会・講演会  
(小学校：10月18日開催、参加人数125人 中学校：10月19日開催、参加人数74人)
- ・滝川市教職員研修会「ICT活用授業実践」(1月11日開催、参加人数33人)



### ④幼・保・小連携充実のための取組

#### 幼稚園・保育所・小学校連携推進研修会及び引継会

##### 【ねらい】

小1プロブレム対策として幼稚園・保育所・小学校の連携を推進する。

##### ●幼・保・小連携推進研修会

「講演：幼稚園・保育所と小学校との滑らかな接続をめざして」

講師 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科  
准教授 栗井 康裕 氏

##### ●引継会 R6.3.25開催 (会場：空知教育センター)

##### 【参加者の声】

「会場が一カ所なのでよかった」、「タイムテーブルどおり進行がスムーズ」、「小学校側でこの情報がほしい(いろいろな)があれば改善に繋げるためにも事前にアナウンスがあれば」など



## Check (評価・反省点)

- ①英検ESG、英検IBAの取組は、児童生徒が自らの英語力を把握することができ、英検3級合格者も増えている。分析結果からも学年が上がると英語力も着実にアップしていることが分かる。今後も外国語指導助手(ALT)を効果的に活用して、英語に親しむことで英語学習や英検受験への意欲化を図るなど英語力向上に繋げたい。
- ②各学校で作成する家庭学習の手引きを活用しながら、端末を持ち帰って活用するなど家庭での計画的な学習習慣に繋がっている傾向は見られるが、平日1日あたりの学習時間数が全国平均より少ない結果が出ており、家庭での環境づくりが課題である。
- ③児童生徒の学力向上を育成するためには、教師自身も新たな知識技能の習得に継続的に取り組んでいく必要があるため、オンライン研修や対面研修、講演会など様々な形式の研修会を開催し、教員としての資質向上に繋がる研修機会が確保できた。
- ④幼稚園、保育所及び小学校の教職員の合同研修会を開催し、子どもの発達の情報を共有し、円滑に小学校へ引き継ぐことができたが、「事前に情報交換ができれば」といった要望が教職員からあがるなど、改善できる点はまだあるので円滑な引き継ぎに努める。

## Action (今後の課題・取組の方向性)

- ①英検ESG、英検IBAの取組結果も活用しながら、外国語教育に関しては、外国語指導助手(ALT)による授業支援など、英語を中心とした外国語と触れ合う機会を増やしてコミュニケーション能力や異文化を理解する力の育成に向けた取組を推進する。
- ②引き続き各学校で作成する家庭学習の手引きなどの活用を徹底し、学校と家庭とが連携した環境づくりを推進するとともに、小・中学校に導入するAIドリルを活用して家庭学習習慣の定着を図る。
- ③学校長等のマネジメントの下で、教員の自律的・主体的な学びを実現するため、教職員研修推進体制を構築し、「学び続ける教師」の育成を推進する。
- ④幼児・児童一人ひとりの発達段階のきめ細かな把握と、発達や学びに必要な環境を整えるため、架け橋期におけるカリキュラムの作成をはじめとした幼保小の連携を支援する。

## 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和5年度	所管課名	教育総務課・社会教育課
推進計画の重点方針	2 豊かな心の育成		
推進計画の 施策の方向性	子どもたちの豊かな情操や道徳心を培い、自他の生命の尊重、他者への思いやり、自己肯定感、人間関係を築く力、社会性などを育む		
推進計画の 主な取組	①道徳教育の充実 ②情報モラル教育の推進		

① 達成目標 (Plan)	<p>①道徳教育推進事業として外部講師による研修・講演会による道徳教育の推進。</p> <p>②子どもを性的な暴力被害から守るため、家庭における各種情報機器のフィルタリングの設定をはじめとしたインターネット利用のルールの普及啓発活動を地域や民間との連携で取り組む。</p>
② 実施状況 (Do)	<p>①【道徳教育の充実のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道徳教育推進事業」の一環として外部講師を招聘し、市内小学校1校と中学校1校を会場として講師による示範授業と講演会を実施した。</li> <li style="padding-left: 20px;">(ア) 東小学校 10月18日開催、参加人数125人</li> <li style="padding-left: 20px;">(イ) 明苑中学校 10月19日開催、参加人数74人</li> <li>・道徳教育研究会議研究員による公開授業を行った。</li> </ul> <p>②【情報モラル教育の推進のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対策に向けた実態把握</li> <li>インターネット利用に関する今後の安全対策及び情報モラル教育や啓発活動の参考にするため、市内小中学生及び保護者を対象にインターネット利用に関する意識調査（実態調査）を実施した。</li> <li style="padding-left: 20px;">・小学生（3～6年生）1,012名／1,037名 回答率97.6%</li> <li style="padding-left: 20px;">・中学生 748名／848名 回答率88.2%</li> <li style="padding-left: 20px;">・保護者（小学生）754名／1,037名 回答率72.7%</li> <li style="padding-left: 20px;">・保護者（中学生）552名／848名 回答率65.0%</li> <li>・啓発の取組</li> <li style="padding-left: 20px;">(ア)インターネットやSNSの危険性や望ましい利用方法について、理解を深めるため、リーフレットの作成や情報モラル通信(年2回)を発行し、市内全小中学校児童・生徒の保護者を対象に配布を行い、啓発を実施した。</li> <li style="padding-left: 40px;">また、令和5年度からは、インターネットに触れる機会の低年齢化を踏まえて、3歳児検診、就学時検診の受診保護者（各1回）に対して、スマホ育児やインターネットの使い始めの注意点に関する啓発文書を配布を行った。</li> <li style="padding-left: 20px;">(イ)e-ネットキャラバンによるe-ネット安心講座を小学校1校で行い、情報モラル教育を実施した。 11月29日 滝川第二小学校3年生 24人</li> <li style="padding-left: 20px;">(ウ)北海道教育委員会の「ネットトラブル未然防止のためのネットパトロール」事業を通じて各校へ未然防止、早期発見、早期対応の取組を啓発している。</li> </ul>

<p style="text-align: center;">③ 評価・反省点 (Check)</p>	<p>①外部講師を招聘した示範授業・講演会により、児童生徒も道徳的な判断力や実践意欲等が発揮され、他者の意見に耳を傾け、自身も考えを発言するなどの姿勢が見られた。自身の意見を周囲に伝えることを苦手とする児童生徒も一部いたが、そのことに対しても多様な感じ方や考え方と受け止められ授業が進められており、子どもたちへの道徳教育の理解が深められた。</p> <p>また、教職員も示範授業の実践を通して道徳教育の進め方を考え学ぶ機会となり、授業改善と充実が図られた。</p> <p>②調査を行った結果、前回（令和元年）調査時よりも子どもたちのスマートフォン所持率がどの年代でも上昇しており、所持する時期についても低年齢化していることが判明した。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により社会全体に急速なデジタル化が進んだことや教育現場においても1人1台端末の貸し出しが開始され、子どもたちにとってもインターネットの利用はより身近なものになった。これからの社会においては、益々デジタル化が進展し、変化も続けることを念頭に置いて、さまざまな被害に巻き込まれないための利用の在り方について、保護者や子どもたちに向けた教育の重要性を再認識した。</p>
<p style="text-align: center;">④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)</p>	<p>①道徳教育推進事業として、引き続き外部講師を招聘し、未実施の全ての中学校区で示範授業・講演会を実施し、「考え、議論する道徳」への質的転換を推進する。</p> <p>②スマートフォンの所持率や所持する時期の低年齢化は今後も進むことが予測される。令和5年度から3歳児検診や就学時健診の際から啓発の取組みをスタートさせたが、今後も幼少期からのアプローチが大切であり、子どもたちが被害者にも加害者にもならないよう保護者、学校、民間企業と連携し、変化に応じた啓発活動を継続的にやりたい。</p>

### 全体を通じて（評価ポイント）

道徳教育推進事業は、これまでも継続している取組ですが、豊かな情操や道徳教育を通じて他者との関わりや人間性・社会性を育むための重要な取組であると位置づけています。しかしながら、デジタル化が進み様々な情報が得られる社会、他者との関わりも多様化・複雑化する社会となっていることから、情報モラル教育についても継続的に取り組むとともに、児童生徒や保護者に向けて啓発し、正しい知識を身につけるための情報を発信してまいります。

#### 外部評価会議委員からの評価・意見

- ・情報モラル教育については、積極的に情報発信してもらいたい。
- ・小学校低学年からスマートフォンを持つ時代になっている。親が注意してもゲームなどやってしまう。小さいときから学校で情報モラルについて注意したり、教育してもらえると親としても助かるし、安心だと思ふ。
- ・端末の持ち帰りもあるので、スマートフォンを持っていなくても端末に触れる機会がある。親も含めた、小学校入学前の幼少期からの情報モラル啓発の取組みは、大事だと思ふ。継続してほしい。

豊かな心の育成

Plan (達成目標)

- ① 道徳教育推進事業として外部講師による研修・講演会による道徳教育の推進。
- ② 子どもを性的な暴力被害から守るため、家庭における各種情報機器のフィルタリングの設定をはじめとしたインターネット利用のルールを普及啓発活動を地域や民間との連携で取り組む。

Do (実施状況)

① 道徳教育の充実のための取組

外部講師による研修会・講演会

● 道徳教育推進事業

【ねらい】

本市が推進してきた道徳教育推進事業を「広げる・深める」ため、道徳科授業の質の向上を図る

【取組内容】 研修会・講演会

「研究主題：自分のよりよい生き方についての考えを深める道徳科」～主体的・協働的な学習を通して～  
講師 岐阜聖徳学園大学 准教授 山田 貞二 氏

【開催日・会場・参加人数（教職員）】 R5.10.18 東小学校 125人、 R5.10.19 明苑中学校 74人

示範授業の様子



特設授業の様子



講演会の様子



● 滝川市道徳教育研究会議 市内教職員で構成。R5年度は7回実施。そのうち2回は、上記外部講師による研修会と同日開催し、特設授業を行った。

豊かな心の育成

②情報モラル教育の推進のための取組

対策に向けた実態把握

【ねらい】

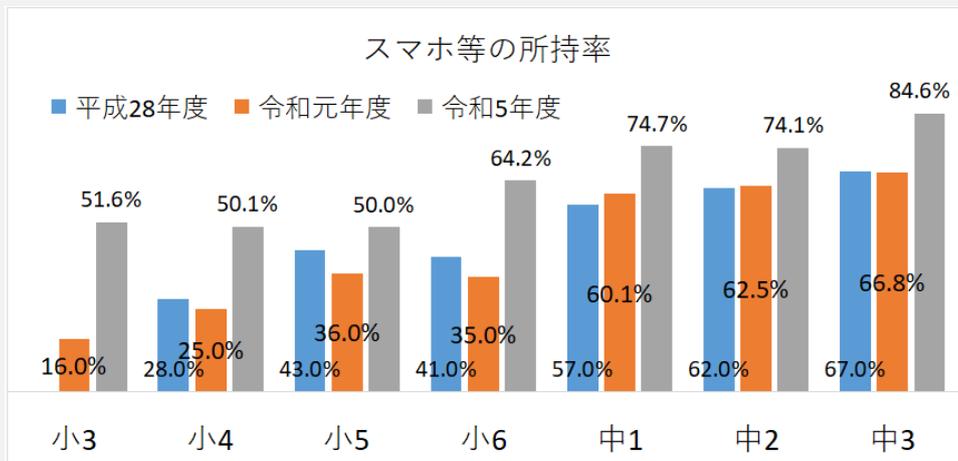
インターネット利用に関する今後の安全対策及び情報モラル教育や啓発活動の参考にするため、市内小学3年生以上中学3年生以下及びその保護者を対象にインターネット利用に関する意識調査（実態調査）を行う。

【調査結果（抜粋）】

(1) スマートフォン（携帯電話を含む以下、スマホとする）やタブレットの所持率（前回調査との比較）

《回答数》児童1,012人中、所持552人、  
生徒748人中、所持576人）

スマホ等の所持については、回答のあった児童（小学生）の約5割、生徒（中学生）では7割以上が専用で所持している。前回（令和元年度）調査と比較し、児童生徒ともに所持率が増となっている。

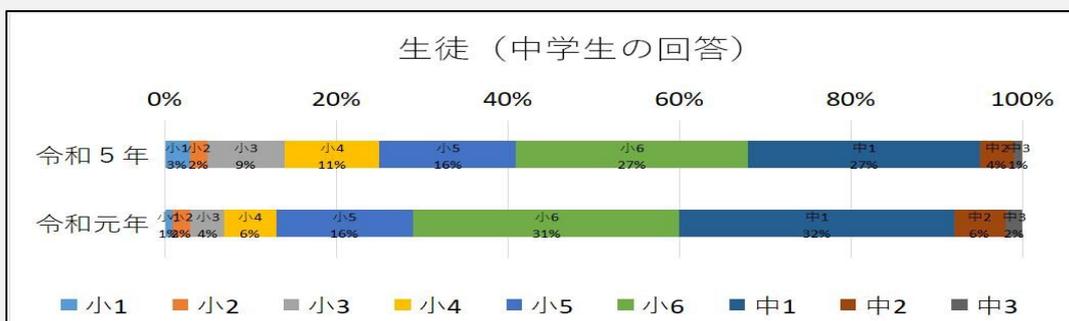
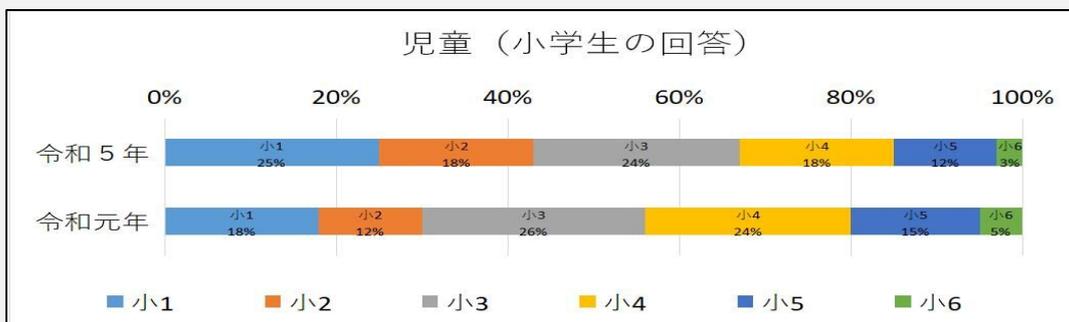


↑小学3年生は、平成28年度まで調査対象としていなかったため、未掲載。

(2) スマホを所持した時期

《回答数》児童552人、生徒576人）

スマホを所持していると回答した児童（小学生）のうち、所持した時期の最も割合が高かったのは、小学1年生であり、令和元年度の調査時と比較すると全体的に低年齢化が進み8割以上が小学4年生までに所持している。生徒（中学生）の回答では、所持した時期は、小学校卒業を迎える6年生が最も多く、次いで中学1年生となっているが、全体的に所持する時期の低年齢化が進んでいる。



豊かな心の育成

(3) スマホ等でのトラブルの内容(保護者回答)

《複数回答》

児童 スマホを所持させている保護者374人中43人  
生徒 スマホを所持させている保護者462人中91人

児童がトラブルにあったことを認識している保護者の回答では「チェーンメール」が最も多く、その他として「なりすまし」や「友人同士のトラブル」などがある。生徒の保護者の回答では「チェーンメール」が最も多く、次に「SNSなどで悪口を書かれた」が多い。その他として「オンラインゲームでの仲間はずれ」や「グループラインでのトラブル」などがある。

なお、同様の調査を児童・生徒にも行っているが、保護者の回答以上にトラブルに巻き込まれていると回答した人数は多い。内容については、保護者の回答結果と類似している。

(4) スマホやインターネットの危険性(有害サイトやネットいじめの問題など)についての情報入手の方法(保護者回答)

《複数回答》 児童保護者714人回答  
生徒保護者552人回答

児童の保護者では、「テレビや本、パンフレットなどで知った」、「学校だよりや学校からの配布資料で知った」が全体の3割を超え、生徒の保護者では「学校だよりや学校からの配布資料」が3割となっている。テレビや本などからの情報も入手しやすいが、学校からの配布物、保護者会等での説明が情報を一斉に発信することが可能なことから、有効な入手方法といえる。

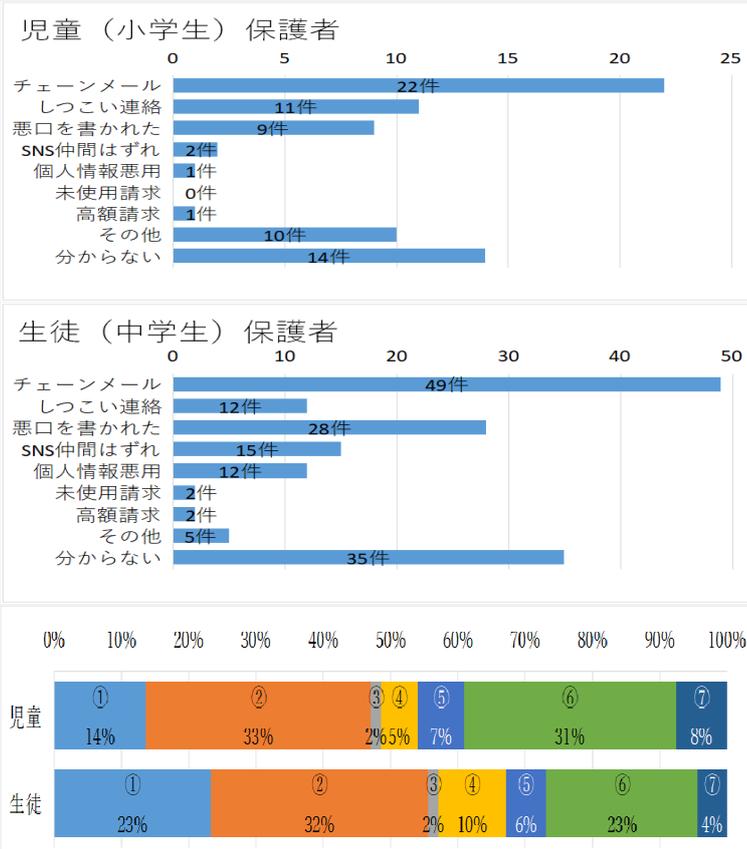


図18 スマホやインターネットの危険性の情報入手方法

①学校の保護者会やPTAの会合等で説明を受けた ②学校だよりや学校からの配布資料 ③講座等に参加して教えてもらった ④スマートフォンを購入した時に店から説明してもらった ⑤友人から教えてもらった ⑥テレビや本、パンフレットなどで知った ⑦特に教えてもらったり学んだことはない

Check(評価・反省点)

- ①外部講師を招聘した示範授業・講演会により、児童生徒も道徳的な判断力や実践意欲等が発揮され、他者の意見に耳を傾け、自身も考えを発言するなどの姿勢が見られた。自身の意見を周囲に伝えることを苦手とする児童生徒も一部いたが、そのことに対しても多様な感じ方や考え方を受け止められ授業が進められており、子どもたちへの道徳教育の理解が深められた。また、教職員も示範授業の実践を通して道徳教育の進め方を考え学ぶ機会となり、授業改善と充実が図られた。
- ②調査を行った結果、前回(令和元年)調査時よりも子どもたちのスマートフォン所持率がどの年代でも上昇しており、所持する時期についても低年齢化していることが判明した。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により社会全体に急速なデジタル化が進んだことや教育現場においても1人1台端末の貸し出しが開始され、子どもたちにとってもインターネットの利用はより身近なものとなった。これからの社会においては、益々デジタル化が進展し、変化も続けることを念頭に置いて、さまざまな被害に巻き込まれないための利用の在り方について、保護者や子どもたちに向けた教育の重要性を再認識した。

Action(今後の課題・取組の方向性)

- ①道徳教育推進事業として、引き続き外部講師を招聘し、未実施の全ての中学校区で研修会・講演会を実施し、「考え、議論する道徳」への質的転換を推進する。
- ②スマートフォンの所持率や所持する時期の低年齢化は今後も進むことが予想される。令和5年度から3歳児検診や就学時検診の際から啓発の取組みをスタートさせたが、今後も幼少期からのアプローチが大切であり、子どもたちが被害者にも加害者にもならないよう保護者、学校、民間企業と連携し、変化に応じた啓発活動を継続的にしていきたい。



## 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和5年度	所管課名	社会教育課・学校運営課
推進計画の重点方針	3 健やかな体の育成		
推進計画の 施策の方向性	生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成するとともに、生活習慣の確立や学校保健の推進等により、心身の健康と体力の向上を図る		
推進計画の 主な取組	①学校保健活動の充実 ②学校給食、食育活動の充実 ③学校や地域における子どものスポーツ機会の充実		

① 達成目標 (Plan)	①感染症や熱中症等の対策のため各学校に「暑さ指数計」を配置する。 ②学校給食に地場産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用し、地域の自然、文化、産業等に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に関する感謝の念を育む。 ③学校における体育活動の中で、スポーツをする楽しさに気付かせるなど、児童生徒の運動習慣の確立や体力の向上を図る。また、社会教育施策や地域の人材・資源などを活用して、より身近な環境におけるスポーツ機会の充実を図るとともに、部活動の地域移行を推進する。
② 実施状況 (Do)	①【学校保健活動の充実のための取組】 ・「暑さ指数計」を各校に配置した。 ②【学校給食、食育活動の充実のための取組】 ・米、なばな、玉葱、ごぼう、リンゴ、ジンギスカンなど滝川市特産品を用いた給食提供にあわせ、生産者による食育授業を小学校において5回行った。 ③【学校・地域でのスポーツ機会の充実のための取組】 ・一般財団法人滝川市スポーツ協会に補助を行い、元気アップ教室など、一年を通してスポーツを行う機会の充実を図った。 ・滝川市テニスコートの全面供用開始に伴い、オープニングセレモニーを行った。同日、記念事業として、滝川ソフトテニス連盟と滝川市スポーツ協会の共催によるソフトテニスキッズアカデミーが企画され、開催を支援した。 4月29日 市内小学1年生から中学3年生 136名が参加 ・体力・運動能力向上のための出前講座を実施した。 5月12日及び10月25日 江部乙小学校全学年 6月26日 東小学校 4年生 74人 ・スコレ滝川に市民コース3コースの利用を開始した。 9月1日から ・レパンガ北海道小学校訪問事業の受け入れを行い、プロバスケットボールプレーヤーによるバスケットボール体験を行った。 6月28日 江部乙小学校 4～6年生全児童 〃 東小学校 6年生 100名 ・アダプテッドスポーツ出前講座を実施した。 12月15日 西小学校 30人 〃 滝川第二小学校 50人

<p style="text-align: center;">③ 評価・反省点 (Check)</p>	<p>①学校教育活動実施の可否を客観的な指標を用いて判断するための一助となった。</p> <p>②実際に生産された食品とその生産者からの努力や苦勞を直接聞くことで、滝川市特産品への愛着に加え、食に関する感謝の念を育むことができた。</p> <p>③一般財団法人滝川市スポーツ協会や、競技団体、民間企業とも連携を図り、スポーツの機会充実が図られた。</p> <p>一方、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査（文部科学省）結果でも運動をする子どもと、しない子どもの二極化が見られることや、それによって体力レベルにも差が生じていることが報告されており、運動する習慣のない子どもたちに、スポーツの楽しさを伝える機会や関心を持たせる取り組みが必要である。</p> <p>旧温水プールについては、民間企業により再開され、一般市民が利用するためのレーンの確保を行うことができた。</p>
<p style="text-align: center;">④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)</p>	<p>①数値指標だけで学校教育活動の可否を判断することのないよう、「熱中症対策ガイドライン」や個々の児童生徒の体調などを考慮して対応するよう各校と共有する。</p> <p>②良い事業であるので継続していきたい。なお、学校給食における滝川産食材の使用率は約1割（ほか道内産約4割、国内産約4割）で、その都度、献立表に記載し周知をしている。</p> <p>③部活動の地域移行を踏まえた、子どもたちのスポーツに親しむ機会の確保が必要である。また、児童・生徒の体力向上や心身の健康のためには、学校での活動だけでは補えない部分もあるため、スポーツ協会や競技団体等との連携も図りながらスポーツの機会充実に努める必要がある。</p>

### 全体を通じて（評価ポイント）

学校生活において、子どもたちに過ごしやすい環境を提供するとともに、学校給食等を通じて望ましい食習慣や身体づくりの提供に努めています。また学校や地域で運動やスポーツに親しみ、体力向上に繋がるよう取組を推進しています。

#### 外部評価会議委員からの評価・意見

- ・学校給食の近隣市町の食材を使った「ご当地メニュー」や、沖縄のメニューの提供は、とても良い取り組み。同時に、その町がどこにあるのか、どういう地域なのか、どういった特産品があるのかなど、その町のことも子どもたちに教えながら取り組んでいただけたら、と思う。
  - ・スポーツに関する取り組みは、いろいろな点で大変な時期になってきた。今後は子どもたちにコンプライアンスを教えていく必要があると思う。スポーツにおけるパワーハラスメント等を教える機会も作ってほしい。
  - ・部活動の地域移行について、少しずつ話が進んでいる部活もあるようだが、市の方針や進捗状況、課題など、市民の方が内容を確認できるようにしてほしい。
- （市のホームページで「部活動の地域移行について」を掲載している（随時更新）。指導者の高齢化もあり、指導者の確保が課題である。）

健やかな体の育成

Plan (達成目標)

- ①感染症や熱中症等の対策のため各学校に「暑さ指数計」を配置する。
- ②学校給食に地場産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用し、地域の自然、文化、産業等に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に関する感謝の念を育む。
- ③学校における体育活動の中で、スポーツをする楽しさに気付かせるなど、児童生徒の運動習慣の確立や体力の向上を図る。また、社会教育施策や地域の人材・資源などを活用して、より身近な環境におけるスポーツ機会の充実を図るとともに、部活動の地域移行を推進する。

Do (実施状況)

①学校保健活動の充実のための取組

「暑さ指数計」配置しました

【ねらい】

感染症や熱中症等の対策として、子どもたちや教職員もいち早く確認できるよう「暑さ指数計」を市内小・中学校に配置した。



WBGT表示



インフルエンザ指数表示

温度、湿度を測定する温湿度計です。

WBGT指数、インフルエンザ指数を表示しますので、1年を通して快適な環境管理に役立ちます。

バー表示やWBGT値警報機能で分かりやすくお知らせします。

日常生活に関する指針

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28以上31未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25以上28未満)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver4」(2022)より改編 ※

※日本気象学会の承諾を得て、出典元の「WBGT」を「暑さ指数 (WBGT)」とし、値を気温 (単位は℃) と区別しやすいように、単位のない指数として表記しています

②学校給食、食育活動の充実のための取組

地産地消！滝川市特産品を食材にした給食提供など

【ねらい】

地域の食材を通して「食」に対する正しい知識と食習慣を身につけ、生産者の方から努力や苦勞を聞くことで感謝の気持ちと、地域の食文化に触れる機会を創出する。

【具体的活動】

- ・米、なばな、玉ねぎ、ごぼう、リンゴ、ジンギスカンなど食育授業を年間5回実施
- ・「行事献立」、近隣市の食材を使用した「ご当地メニュー」、友好親善都市「名護市」がある「沖縄献立」・「世界の料理」など子どもたちの成長を考え、バランスの良い、楽しく学んでおいしく食べる給食を提供した。



～田植え体験～



～玉ねぎ生産者による授業～

2023年度	
日(曜)	献立
11(月)	ごはん いしかりじり 石狩汁 滝川 なばな 菜花入り滝川さつまいもコロック なばな 菜花のオカカマヨネーズ
12(火)	ガーリックライス 世界の料理 タラのピヤベース フランス トマトミートオムレツ もち麦のタブル たきかわさん もちむぎの サラダ
13(水)	ごはん ご当地 ガタタン メニュー シューマイ(中学2個) 芦別 野菜チャブチェ
14(木)	ごはん 郷土料理 せんべい汁 あまのり いかにんぼ 青森 ねりこみ つがるちぼうの きょうどりよりり (あまいもの) りんごゼリー
15(金)	ハヤシライス 入城 メニュー ハインヨーグルト

## 健やかな体の育成

### ③学校・地域でのスポーツ機会の充実のための取組

#### スポーツ環境の整備とスポーツ機会の提供

##### ●スポーツ環境の整備と競技団体と連携したスポーツ機会の提供

令和5年4月29日、滝川市テニスコートの全面供用開始に伴い、オープニングセレモニーを行った。

同日、記念事業として、滝川ソフトテニス連盟と滝川市スポーツ協会の共催による実業団選手を講師としたソフトテニスキッズアカデミーが企画され、開催を支援した。



テニスコート  
オープニングセレモニー



ソフトテニスキッズアカデミー  
市内小学1年生から中学3年生まで  
述べ計136名が参加

##### ●プロスポーツチームの社会貢献活動を活用したスポーツ機会の提供

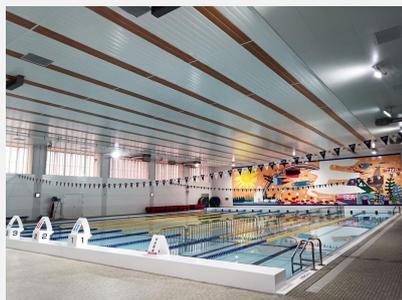
令和5年6月28日、レバンガ北海道小学校訪問事業の受け入れを行い、プロバスケットボールプレイヤーによるバスケットボール体験を行った。

- ・江部乙小  
4～6年生 全児童
- ・東小6年生  
延べ100人が参加



##### ●民間施設を活用したスポーツ機会の提供

令和5年9月1日、民間事業者が再開した温水プール「スコーレ滝川」に市民の一般利用者向け3コースを借り上げるための補助を行い、利用を開始した。



#### Check (評価・反省点)

- ①学校教育活動実施の可否を客観的な指標を用いて判断するための一助となった。
- ②実際に生産された食品とその生産者からの努力や苦勞を直接聞くことで、滝川市特産品への愛着に加え、食に関する感謝の念を育むことができた。
- ③一般財団法人滝川市スポーツ協会や、競技団体、民間企業とも連携を図り、スポーツの機会充実が図られた。  
一方、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)結果でも運動をする子どもと、しない子どもの二極化が見られることや、それによって体力レベルにも差が生じていることが報告されており、運動する習慣のない子どもたちに、スポーツの楽しさを伝える機会や関心を持たせる取組が必要である。  
旧温水プールについては、民間企業により再開され、一般市民が利用するためのレーンの確保を行うことができた。

#### Action (今後の課題・取組の方向性)

- ①数値指標だけで学校教育活動実施の可否を判断することのないよう、「熱中症対策ガイドライン」や個々の児童生徒の体調などを考慮して対応するよう各校と共有する。
- ②良い事業であるので継続していきたい。なお、学校給食における滝川産食材の使用率は約1割(ほか道内産約4割、国内産約4割)で、その都度、献立表に記載し周知している。
- ③部活動の地域移行を踏まえた、子どもたちのスポーツに親しむ機会の確保が必要である。  
また、児童・生徒の体力向上や心身の健康のためには、学校での活動だけでは補えない部分もあるため、スポーツ協会や競技団体等との連携も図りながらスポーツの機会充実に努める必要がある。

## 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和5年度	所管課名	社会教育課・図書館
推進計画の重点方針	4 生涯学習の推進		
推進計画の施策の方向性	全ての人が生涯を通じて自らの人生を設計し、活躍することができるよう、必要な知識・技能の習得、知的・人的ネットワークの構築や健康の保持・増進に資する生涯学習活動を推進する		
推進計画の主な取組	①生涯学習活動の推進 ②生涯学習活動を支援する読書環境の整備		

① 達成目標 (Plan)	<p>①市民グループやサークル等の主体的活動や生涯学習関係団体等の生涯学習プログラムづくり等を支援するとともに、社会教育施設と連携して幅広いニーズに対応した多様な学習機会を提供する。</p> <p>②生涯にわたる学びを支援するため、読書環境の整備や読書活動を推進する。</p>
② 実施状況 (Do)	<p>①【生涯学習活動の推進のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公共施設で活動するグループ・サークル活動を調査し、ホームページや配布物として情報提供を行った。</li> <li>・一般財団法人滝川生涯学習振興会において、市民の多様なニーズに添ったプログラムづくりを行い57講座377回を実施した。</li> <li>・美術自然史館やこども科学館、図書館などの社会教育施設において、多様な学習機会づくりに取り組んだ。</li> </ul> <p>②【生涯学習活動を支援する読書環境の整備のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次滝川市子どもの読書活動推進計画に基づき、読書環境の整備や読書の習慣化を図るため、4～5か月児相談時に赤ちゃんへ絵本を贈るブックスタート事業を行い家庭での読み聞かせの機会を提供したほか、幼稚園や保育所・学童クラブ、重度障がい児通所施設などへの貸出文庫、小・中学校への図書館学級文庫を実施し、子ども達が本に親しめる環境を整備したほか、読書アルバムなどを活用し、読書の習慣化を図った。</li> <li>・調べ学習用図書活用の推進や、調べる窓口や体験講座を実施し、自ら学び考える力を育み、学習コンクールの応募作品の質の向上を図った。</li> <li>・令和6年度を始期とする第3次滝川市子どもの読書活動推進計画を策定した。</li> <li>・学童クラブや関係団体と連携したイベント、重度障がい者通所施設や高齢者施設へ出向き、出張おはなし会を計28回行い、753名の参加があった。</li> <li>・生きがいづくりや地域貢献のために、読み聞かせや視覚に障がい等がある方のための朗読CD作成などの読書普及活動のほか、市勢資料の整備や図書の修理・整理など図書館活動全般にわたり、延べ234回・922名の図書館ボランティアが活動した。</li> <li>・図書館に足を運べない方のために、「どこでもドクショ。～つながる本棚～」事業を行い、3カ所に「地域文庫」を設置するほか、高齢者施設へ本を贈るなど、身近な施設で読書に親しめる環境を整備した。</li> <li>・市勢資料の地図と写真を組み合わせたデータ「滝川市地図写真アーカイブ『たきかわ思い出めぐり』」を、館内のパソコンで閲覧できるように公開し、毎月情報を更新した。</li> </ul>

	<p>・「家族歴史研究家・岸本良信さんの家系図を作ろう！～実践編～」を開催し、家系図づくりに役立つ図書や関係機関の紹介、調べ方の手法などについて学び、生涯学習活動の支援を行った。</p>
<p>③ 評価・反省点 (Check)</p>	<p>①人生100年時代と言われる高齢化社会において、高齢者が生き生きと暮らしていくための学習機会の提供が必要である。</p> <p>生涯学習プログラムの提供機関として支援している滝川生涯学習振興会は、多様なニーズに対応した講座が実施され、受講者の満足度も高く、市民の生涯学習機会の提供に大きな役割を果たしていると評価できる。</p> <p>一方、社会教育施設で提供する学習プログラムは、児童を対象としているものが多く、滝川生涯学習振興会のプログラムとすみ分けはされているが、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした教育領域である生涯学習としては、これからの地域を支える若年層の参加機会が少なく、近年における継続課題である。</p> <p>②多くの市民に、図書館の読書活動に参加・協力していただく機会を提供し、本を通じた生きがいづくりや生涯学習を支援することができた。また、図書館を訪れるのが困難な方のために子どもが集まる施設や高齢者施設と連携し、身近な場所で本に親しめる環境を整備することができた。</p>
<p>④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)</p>	<p>①滝川生涯学習振興会の多彩な学習プログラムは、評価されている一方で、受講者の年代が年々、上昇傾向にあり、新たなニーズの掘り起こしや社会環境の変化に合わせた学習機会の検討が必要である。</p> <p>また、急速に進化を続けるデジタル社会を踏まえた、学習機会の提供を検討することや、現在、滝川市で検討が進められている新たなホールなどの社会教育関連施設の整備検討においては、生涯学習や文化、地域活動の拠点として多用な学習機会の場となるよう、検討を進めたい。</p> <p>②今後も社会貢献や生きがいづくりの場の提供をするとともに、幅広いニーズに合わせた読書環境の整備を推進する。</p>

### 全体を通じて（評価ポイント）

新型コロナウイルス感染症の影響で制限されていた活動が再開され、生涯学習の機会を広く市民に提供できる状況となり、多くの方に参加していただきましたが、指導者や受講者の高齢化もあり様々な活動で人材育成が課題となっています。社会貢献や生涯学習に関して地域の方との連携に対する今後の有効な手段等について、ご意見をいただきたい。

### 外部評価会議委員からの評価・意見

- ・生涯学習については、高齢化していくと言われているが、高齢の方も、イベントに参加してもらうことで笑いや、手先を使ってもらするなど、そういったことが健康に結びつくということがある。多くの人にイベントや取り組みを知ってもらい、多くの人に参加してもらいたいと思う。
- ・図書館は静かというイメージがあるが、音楽を流すのはどうか。音楽をかけながらだと勉強などでも頭に入ってくると聞く。考えてみてもいいのではないか。
- ・高齢になるとイベントに参加して人と会話することが大事になってくる。文化的活動、スポーツや図書館の活動などは市民にとって大事な交流の場になっているので、継続的な提供を期待している。

生涯学習の推進

Plan (達成目標)

- ①市民グループやサークル等の主体的活動や生涯学習関係団体等の生涯学習プログラムづくり等を支援するとともに、社会教育施設と連携して幅広いニーズに対応した多様な学習機会を提供する。
- ②生涯学習活動を支援する読書環境の整備。

Do (実施状況)

①生涯学習活動の推進のための取組

各種グループ・サークル・団体等における生涯学習活動

●グループ・サークル活動調査

- ・市内の公共施設で活動するグループ・サークル活動を調査し、ホームページや配布物として情報提供を行った。

令和5年度 グループ・サークル活動団体数合計 197団体

《内訳》文科系活動団体 64団体、スポーツ系活動団体 100団体、その他活動団体 33団体

●一般財団法人滝川生涯学習振興会による学習機会の提供（生涯学習プログラム）の実施状況

種別	講座実績	月日	参加者
講演会	1回 齋藤真知亜と齋藤律子がヴァイオリン弾きになるまで	10/22	聴講者 41名
教養講座	10講座 合計 45回を実施	それぞれの講座に開催期間が設定され、内容に応じて開催講座数（最大10回）	受講者 73名
健康・運動講座	17講座 合計155回を実施		受講者 375名
趣味・実用講座	31講座 合計147回を実施		受講者 226名
語学講座	3講座 合計 30回を実施		受講者 19名
いきいきカレッジ	必修講座 10講座、選択講座6講座、特別講座 5 講座を実施		登録者 21名
資格検定	漢字能力検定試験 2回実施	6/18、2/11	受験者 71名



教養講座:滝川探訪講座



健康・運動講座：気軽にエアロビクス



趣味・実用講座:楽しむ絵手紙講座

## 生涯学習の推進

### ②生涯学習活動を支援する読書環境の整備のための取組

#### 展示、イベント、ワークショップ等の開催

##### 【ねらい】

子どもや高齢者、障がいのある方など幅広いニーズに合わせた生涯学習活動を推進するため、読書環境を整備し、展示やイベント、ワークショップ等、読書に親しむ機会を提供する。

##### 【具体的活動】

- ①ブックスタート：4～5か月児相談時に赤ちゃんへ絵本を贈る。
- ②貸出文庫・図書館学級文庫：幼稚園、保育所、小・中学校、学童クラブ、重度障がい者通所施設などへ貸出。計771回、貸出冊数36,692冊
- ③読書アルバム：市内全小学校、100冊達成毎賞状配布延べ116名、500冊達成者教育長表彰9名
- ④調べ学習用図書の貸出：市内6小学校、32件、貸出冊数2,155冊
- ⑤調べる窓口・調べる学習体験講座：参加児童24名、調べる学習コンクール：応募作品155点
- ⑥第3次滝川市子どもの読書活動推進計画を策定
- ⑦出張おはなし会：学童クラブ・関係団体連携イベント、重度障がい者通所施設、高齢者施設など、計29回、1,016名参加
- ⑧生きがいづくりや地域貢献のための図書館ボランティア活動：延べ234回、922名参加
- ⑨「どこでもドクショ。～つながる本棚～」：「地域文庫」3ヵ所設置、「高齢者施設」5ヵ所贈呈
- ⑩「滝川市地図写真アーカイブ『たきかわ思い出めぐり』」：館内のパソコンで公開
- ⑪「家族歴史研究家・岸本良信さんの家系図を作ろう！～実践編～」：1回、36名参加

～市内全小・中学校、各4回実施  
図書館学級文庫～



～令和5年10月27日～11月15日実施  
調べる学習コンクール作品展～



～出張おはなし会～



～家系図づくりワークショップ～



### Check (評価・反省点)

- ①人生100年時代と言われる高齢化社会において、高齢者が生き生きと暮らしていくための学習機会の提供が必要である。生涯学習プログラムの提供機関として支援している滝川生涯学習振興会は、多様なニーズに対応した講座が実施され、受講者の満足度も高く、市民の生涯学習機会の提供に大きな役割を果たしていると評価できる。一方、社会教育施設で提供する学習プログラムは、児童を対象としているものが多く、滝川生涯学習振興会のプログラムとすみ分けはされているが、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした教育領域である生涯学習としては、これからの地域を支える若年層の参加機会が少なく、近年における継続課題である。
- ②多くの市民に、図書館の読書活動に参加・協力していただく機会を提供し、本を通じた生きがいづくりや生涯学習を支援することができた。また、図書館を訪れるのが困難な方のために子どもが集まる施設や高齢者施設と連携し、身近な場所で本に親しめる環境を整備することができた。

### Action (今後の課題・取組の方向性)

- ①滝川生涯学習振興会の多彩な学習プログラムは、評価されている一方で、受講者の年代が年々、上昇傾向にあり、新たなニーズの掘り起こしや社会環境の変化に合わせた学習機会の検討が必要である。また、急速に進化を続けるデジタル社会を踏まえた、学習機会の提供を検討することや、現在、滝川市で検討が進められている新たなホールなどの社会教育関連施設の整備検討においては、生涯学習や文化、地域活動の拠点として多様な学習機会の場となるよう、検討を進めたい。
- ②今後も社会貢献や生きがいづくりの場の提供をするとともに、幅広いニーズに合わせた読書環境の整備を推進する。

## 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和5年度	所管課名	教育総務課・学校運営課
推進計画の重点方針	5 教育 DX の推進		
推進計画の 施策の方向性	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた各教科等の指導における ICT 活用を促進する		
推進計画の 主な取組	①情報活用能力の育成 ②各教科等の指導における ICT 活用の促進 ③校務の ICT 化による教職員の業務負担軽減及び教育の質の向上		
① 達成目標 (Plan)	①ICT スキル体系表等を活用し、情報活用能力を育成する。 ②デジタル教材や学習支援ソフトを活用し、子どもたちの学習環境の充実を促進する。 ③校務の ICT 化による教職員の業務負担軽減を推進する。		
② 実施状況 (Do)	①【情報活用能力の育成のための取組】 ・「小・中学校9年間を通じた ICT スキル体系表」と合わせて、情報モラルや情報セキュリティに関する内容を含めた「情報活用能力一覧表」を作成し、子どもたちの情報処理スキルの均一化を推進した。 ②【指導における ICT 活用促進のための取組】 ・ICT 活用実践事例集を作成し、小・中学校の教職員の間で活用事例を共有して子どもたちの学習環境の充実を図った。 ・学習者用デジタル教科書実証事業や教師用デジタル教科書により児童生徒の学ぶ楽しさや喜びの醸成に繋げた。 ③【校務の ICT 化のための取組】 ・校務支援システムを活用した指導要録の電子化を行い、市内小・中学校間のデータによる引継ぎ可能とするなど、業務負担軽減を図った。 ・各学校においてクラウドの活用による情報共有、Google フォームによるアンケート実施など DX 化を推進した。		
③ 評価・反省点 (Check)	①市内小・中学校を通じて作成した「ICT スキル体系表」と「情報活用能力一覧表」を活用することで、市内の児童生徒の情報処理スキルが一定の水準となるよう指導し、育成の充実を図った。 ②ICT 活用実践事例集を市内小・中学校の教職員間で共有して事例を参考にすることで、学習環境の幅が広がり、授業だけではなく、家庭学習での活用も図られた。 ③校務支援システムを活用し、指導要録を電子化したことにより市内小・中学校間のデータ処理が可能となり、教職員の業務負担軽減を進めた。		
④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)	①情報活用能力のほか、指導資料や啓発資料を活用して情報モラルの育成を図る。 ②デジタル教材や学習支援ソフトを充実させ、家庭学習での活用も充実させるため、教職員自身も ICT を使った指導力向上の研修を実施していく。 ③校務支援システムの ICT 化によって教職員の業務負担軽減が図られ、教員が児童生徒と向き合う時間を確保するなど環境整備に努める。		

## 全体を通じて（評価ポイント）

各学校においてICT環境を整え、児童生徒の学習や指導にICT活用を促進しました。授業だけでなく家庭学習でも活用が見られるなど学習環境の幅も広がっていますが、一人ひとりの進度に合わせた育成も重要になるためICTスキル体系表の活用の取組や、教職員自身のICTを使った指導力向上の研修の取組を推進します。

### 外部評価会議委員からの評価・意見

- ・一人一台端末ということで小学校・中学校で端末が提供されているが、小学校低学年にとっては端末はかなり重たい。端末の入れ替え時期に見直しをしてもらえるといいと思う。  
(端末を持ち帰るときは、使わない教科書を学校に置いて帰るよう指導するなど学校側も配慮している。また、一部の教科ではデジタル教科書を採用しており、今後、デジタル教科書を使用する教科が増えれば冊子の教科書は使わなくなるので、教科書と端末の持ち帰りによる鞆の重たさ、という意味では今すぐではないが将来的に解決されていくと考えている。)
- ・ICT化によって教職員の業務負担が軽減され、時間外勤務も減っていくなど教員の働き方改革も進んでいくことを期待したい。

教育DXの推進

Plan (達成目標)

- ①ICTスキル体系表等を活用し、情報活用能力を育成する。
- ②デジタル教材や学習支援ソフトを活用し、子どもたちの学習環境の充実を促進する。
- ③校務のICT化による教職員の業務負担軽減を推進する。

Do (実施状況)

①情報活用能力の育成のための取組

ICTスキル体系表等の活用

【ねらい】

義務教育9年間に於いて各学年で身に付けるべきICTスキルを示す一覧表を作成し、滝川市立小・中学校学校が共通して活用することで、1人1台端末を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進する。

【取組状況】

「ICTスキル」の育成を教科横断的な視点から年間指導計画に位置づけることで、9年間を見通した系統的な指導を行い、子どもたちの情報活用能力を向上させた。

●ICTスキル体系表【一部抜粋】

○端末を活用した学習におけるICTスキル体系表

	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	中学校1年生	
端末の基本操作	基本操作	□電源・音量・充電 □ログイン □アプリの使い方 □リモート学習の受け方					□文字入力の仕方など、自	
	文字入力	□手書き入力 □音声入力 □あいうえお表(ソフトウェアキーボード)による文字の入力		□ローマ字入力 □ホームポジション	□ホームポジションの定着 □ローマ字入力(20字/分程度)	□短い言葉のタッチタイピング □ローマ字入力(30字/分程度)	□短い文章のタッチタイピング □ローマ字入力(50字/分程度)	
	その他入力	□タッチパネルの基本～二本指の操作 □画面タッチの使い方	□タッチパネルの基本～二本指の操作	□文字の範囲選択 □コピー&ペースト □文字飾り(フォント・サイズ・文字色など)	□画像の貼り付け、活用	□画像・動画の挿入 □簡単なショートカット		□自分で考えながら、タイ
	データ管理	□任意の場所へファイルの保存 □内蔵カメラの画像を保存、削除	□クラウド上のファイルの保存場所についての理解 □デジタルカメラ等の画像を保存	□クラウド上のファイルの共有設定の理解	□ファイルのコピー □閲覧、編集等の権限の理解			
	検索スキル	□情報の閲覧	□教師が提示した単語で検索	□必要な単語を考えて検索 □教師が示したURLで検索		□and検索() □ブックマーク		
アプリの基本	ロイノート	□写真、動画撮影、削除 □画像に文字や図形を追加		□写真データの取り込み・加工(トリミングなど) □共有ノートに、グループで共同編集		□文書・スライド		
	クラスルーム	□クラスルームに入る □教師の投稿を閲覧 □教師の投稿【選択式の質問】に返信 □課題提出		□教師の投稿【選択式や記述式の質問】に返信		□共有したい □コメントの		
	ミーティング	□家庭で保護者とともに参加する		□一人で参加	□チャット機能の活用		□会議の主権 □双方向での	
	ドライブ		□クラウドについての理解	□ファイルのダウンロード	□ファイル名の変更		□フォルダの	
	フォーム		□選択式の質問に回答	□記述式の質問に回答			□アンケート	
	スライド(プレゼンテーション)			□教師作成のスライドに入力	□1枚のスライドにボスター形式でまとめる □画像の挿入		□プレゼンテーション □共同編集で	

令和5年度

小・中学校9年間を通したICTスキル体系表

小・中学校9年間を通した「ICTスキル体系表」と合わせて「情報活用能力一覧表」を作成しました。各小・中学校において、「ICTスキル」の育成を教科横断的な視点から年間指導計画に位置づけることで、9年間を見通した系統的な指導を行い、滝川市の子どもたちの情報活用能力を育成をしていくことを目標にしております。



滝川市教育委員会  
ICTスキル体系表作成チーム

教育DXの推進

●情報活力能力一覧表【一部抜粋】

情報活用能力一覧表

学習内容	資質・能力			小学校低学年	小学校中学年
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等		
問題解決・探究における情報活用	○			□身近なところから様々な情報を収集する方法	□調査や資料等による基本的な情報方法
	○			□簡単な絵、図、表、グラフを用いた情報の整理 □相手に伝わるようなプレゼンテーション	□表やグラフなどを用いて情報を整理 □相手や目的を意識したプレゼンテーション
		○		□情報活用を振り返り、よさを見つけること	□情報活用を振り返り、改善点を見つけること
プログラミング	○			□大きな事象の分解と組み合わせの体験	□単純な繰り返し・条件分岐・データなどを含んだプログラムの作成、改善
		○		□適切な手順の組み合わせを考え、実行	□問題解決に向け、見通しを立てて組み合わせを考え、実行
			○	□プログラミングの学びを振り返り、良さを見つけようとする	□プログラミングによる学びを振り返り、改善点を見出そうとする
情報モラル・情報セキュリティ	○			□人の作ったものを大切にすることや他者に伝えてはいけない情報があることへの理解	□自分の情報の理解
		○		□インターネット（クラウドサービス含む）上でのルールやマナーを守り、情報を閲覧、活用すること	□インターネット上など断し、活用
			○	□コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする	□情報の発信もルール、動しようとする

1人1台端末の活用に向けた注意点

学校や家庭で1人1台端末を活用するに当たっては、健康への影響に配慮するとともに、子どもたち自らが健康に留意しながら、ICTを活用しようとする意識を高めることが大切です。

目を画面から30cm以上離して使う

○よい姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせましょう。



長時間にわたって継続して画面を見ない

○30分に1回は、20秒以上、画面から目を離し、遠くを見ましょう。  
○目が乾かないよう意識的に時々まばたきをしましょう。



部屋の明るさに合わせて、画面の明るさなどを調整する

○夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用するよりも、明るさ（輝度）を下げましょう。  
○画面の反射や画面への映り込みを防止するために画面の角度や明るさを調整しましょう。

時間や学習内容を決めて使う

○例えば、「寝る1時間前には使用を控える」など、家族と一緒にルールを決め、学習計画を立てた上で活用しましょう。

※令和5年6月北海道教育委員会「ICT端末を活用した家庭学習の手引き」より引用

教育DXの推進

②指導におけるICT活用促進のための取組

ICT活用実践事例集の活用

【ねらい】

ICTの活用の際して、各教科等で育成を目指す資質・能力と児童生徒や学校、地域の実態とを照らし合わせながら、教材や教具、学習活動を工夫する一連の取組の中にICTを効果的に活用する場面を適切に位置づける。

【取組状況】

小・中学校の教職員の間で活用事例を共有して児童生徒の学習環境の充実を図った。

また、学習支援ソフト（ロイロノートなど）、学習者用デジタル教科書実証事業や教師用デジタル教科書により児童生徒の学ぶ楽しさや喜びの醸成に繋がった。



1人1端末を活用した実践事例集

実践事例			
指導学年	小学校5年生	分類	CI
指導教科等(単元名)	算数(小数の割り算)		
アプリ・機能	ロイロノート		
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入部 <input checked="" type="checkbox"/> 展開部 <input checked="" type="checkbox"/> 終末部		
学習の概要	・個々の考え方(解決方法)をロイロノートで共有する。		
効果	・タブレット端末で発表者のノートを見ながら、発表を聞くことで、理解が深まる。また、自分の考えと友だちの考えを瞬時に見比べることができるので、より活発な意見交流(協働的な学び)が期待できる。		
活動の様子 ※児童生徒の様子や画面の静止画等			

持ち帰り事例			
指導学年	小学校2～6年生	分類	B5
指導教科等(単元名)	国語・算数・理科・社会		
アプリ・機能	ドリルパーク		
活用状況	<input type="checkbox"/> 双方向オンライン <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> その他		
学習の概要	授業で習った内容の家庭学習での繰り返し		
効果	・クロームブックを持ち帰ることで、授業で学習した内容を家庭で繰り返し復習することができた。 ・児童から「楽しかった。」「また家庭学習でやってみよう声があがるなど、家庭学習への意欲向上につながることができた。		
活動の様子 ※指導の様子や画面の静止画等			

③校務のICT化のための取組

校務支援システムの活用

【ねらい】

校務支援システムを活用し、業務の一部を電子化とすることで、教職員の業務負担軽減に繋げる。

【取組状況】

指導要録(※注)を電子化し、市内小・中学校間でデータ処理が可能となり教職員の業務軽減を図った。

(※注) 指導要録・・・在学する児童生徒の学習の記録として作成するもの。「学籍に関する記録」と「指導に関する記録」からなる。

Check (評価・反省点)

- ①市内小・中学校を通じて作成した「ICTスキル体系表」と「情報活力能力一覧表」を活用することで、市内の児童生徒の情報処理スキルが一定の水準となるよう指導し、育成の充実を図った。
- ②ICT活用実践事例集を市内小・中学校の教職員間で共有して実例を参考にすることで、学習環境の幅が広がり、授業だけではなく、家庭学習での活用も図られた。
- ③校務支援システムを活用し、指導要録を電子化したことにより市内小・中学校間のデータ処理が可能となり、教職員の業務負担軽減を進めた。

Action (今後の課題・取組の方向性)

- ①情報活用能力のほか、指導資料や啓発資料を活用して情報モラルの育成を図る。
- ②デジタル教材や学習支援ソフトを充実させ、家庭学習での活用も充実させるため、教職員自身もICTを使った指導力向上の研修を実施していく。
- ③校務支援システムのICT化によって教職員の業務負担軽減が図られ、教員が児童生徒と向き合う時間を確保するなど環境整備に努める。